

広報

かじき

2005
平成17年

10月号
612号

特集

○加治木町最後の養蚕農家

人口・世帯の動き 平成17年9月1日現在

●総人口 22,908人 (-16)

男 10,573人 (-6) 女 12,335人 (-10)

●世帯数 9,091 (-14)

出生 21人 死亡 32人 転入114人 転出119人

※ () 内は前月との比較



みんな笑顔で“わっしょいコ〜ル”

加治木中学校体育祭（9月18日）

特集

■消えゆく養蚕の火……

加治木町最後の養蚕農家



内村行男さん、シヅ子さん夫妻（養蚕室の前で）

「最初は養蚕なんだ考えても
おらんかったどん、とうとう最
後ン一人になつしもたなあ。」
玄関先でお茶を飲みながら、
ゆつくりとした口調で話をし
てくださったのは、小山田の市来
原で農業を営む内村行男さん、
シヅ子さん夫妻。お二人は桑園
六十五アール、飼料畑二十五ア
ールを耕作し、生産牛三頭と蚕
（かいこ）を飼育する専業農家
です。桑園で採れた桑の葉は、
自宅に隣接する養蚕室で飼育し
ている蚕に与えています。

養蚕との出会い

加治木町は、かつては島津氏
の城下町として栄え、現在も始
良地域の行政の中心地となつて
いますが、昔から農業は普通作
が主体でこれといった特産物も
ありませんでした。そこで、生
産性を向上させ都市近郊型農業
への脱皮を図ろうと、農業構造
改善事業を導入。第一次構造改

善事業として、昭和四十一年か
ら翌年にかけて、小山田の市来
原地区二十七・二ヘクタール、
西浦地区四十八・六ヘクタール
の畑を整備しました。

市来原地区では、基盤整備が
終了した畑を葉タバコを耕作す
るグループと養蚕を行うグルー
プの二つの区域に分けましたが
内村さんの畑は養蚕を行う区域
に入っていました。

当時は鹿児島空港の建設に伴
い、溝辺町では住宅を移転する
人が多く、その頃左官の仕事を
していた内村さんは、朝早くか
ら夜遅くまで忙しい毎日を送っ
ており、とても養蚕に取り組め
る状況ではなかったそうです。
そのため、畑を売却するかそれ
とも人に貸すかと考えていまし
たが、行男さんの母親から「畑
ばつかりは絶対に手放しちゃな
らん。」と強く反対され、それ
ならと少しずつ養蚕を始めたの
がきっかけだったそうです。

養蚕事情

加治木町内で養蚕が盛んに行われるようになったのは、昭和三十年代後半からで、昭和三十六年には五十戸しかなかった養蚕家は、ピーク時の昭和四十六年には二百九戸を数え、桑園面積は四十六ヘクタール、産繭量は二十七トン、販売額は二千七百万円に達しました。

この頃は、始良郡内や鹿児島県内において養蚕が最も盛んな時代で、「郡内の養蚕農家が丸岡公園（横川町）に集まって、運動会もはずんごったどなあ。加治木のシ（衆）は足が速つせえ、町の対抗リレーはいつも一番じゃった。」と内村さんは懐かしそうに話します。

しかし、盛んだった養蚕は昭和四十七年から急激に衰退して

いきます。最大の理由は桜島の降灰です。

大正三年の大噴火以降、桜島の火山活動はしばらく静まっていたが、昭和三十年十月から火山活動が徐々に活発化。特に昭和四十七年以降は大量の降灰に見舞われるようになり、農作物に大きな被害を与えるようになりまし。

桑の葉に降り積もった灰は、水できれいに洗い流したつもりでも小さな粒子までは除去できず、蚕の良質なエサとして与えることが非常に難しくなってきたのです。このような理由で、養蚕業から手を引く農家が相次ぎ、昭和五十年にはピーク時の半数以下の七十七戸、六十年には二十二戸に減少。その後も



上簇する蚕の選別作業

徐々に減り続け、平成十三年には加治木町で養蚕を営むのは、とうとう内村さんただ一人になってしまいました。

養蚕を始めてから三十八年になる内村さんですが、今でも蚕の管理は難しいと言います。天候によって生育状況が大きく左右され、特に上簇（じょうさく）（蚕が十分發育して体が透過した時、繭を造らせるための用具（簇）に入れること）には気を遣うそうです。この時期は夫婦二人だけでは手が足りず、近所から加勢をもらわなければならぬほどの忙しさになります。

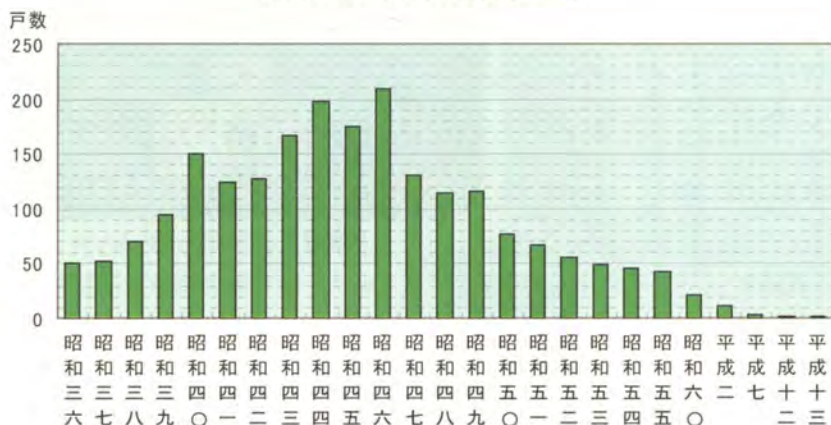
養蚕との別れ

しかし、内村さんもこの十月限りで養蚕をやめなければなら

なくなりました。化学繊維の普及と海外からの安価な輸入品の増加により、国内における生糸価格が低迷。製糸工場は採算が取れなくなり、来年から繭の買入れを中止することになったためです。これまで、鹿児島県が行っていた養蚕への補助事業も平成十八年から廃止されます。加治木で最後の一人（県内では三十七人）になるまで養蚕を続けてこられた内村さん夫妻。「今さら桑園を畑にして園芸に取り組むにしても、資材を揃えかねて金が要つてやなあ。養蚕をやいかぎいやらんならち思つてきばつてきたとあつどん。今からは、もちつと生産牛を増やしてきばらんなら。」

お茶を飲み干し養蚕室へと向かう後ろ姿は、心なしか寂しげに映りました。

加治木町内の養蚕農家戸数



桑の葉の取り入れ



繭を造った蚕

治木町人権フェス



講演する吉川精一さん

すべての人権が尊重される
明るい社会をめざして

「気づこう、身のまわりにある様々な差別！」をテーマに、加治木町人権フェスタが八月二十八日、加音ホールで開催されました。

講演と人権コンサートを通して「差別する心」や「人権」について考えようと、ホールには多くの町民が集まりました。

講演会では、元NHKアナウンサーの吉川精一さんが『人生いつもありがとう』と題し「人生を思い通りに生きることが難しいもの。いつも笑顔で多くのありがとうの言葉に出会おうと幸せな人生になる。」と話しました。

また、岡崎勝美さんが箏とギターでコンサートを行い、自分の思いを詩に込めた曲などを演奏しました。

新行政改革に取り組んでいます

住民説明会に百六十二人

町では、新行政改革の基本的な考え方を住民に理解してもらうため、八月二十三日から二十六日にかけて町内四箇所で行民説明会を開催しました。

説明会には、川野町長をはじめ行政改革や財政担当者、また、議会側から徳重議長などが出席。冒頭、川野町長が「行政・議会・住民が一体となり行政改革に取り組んでいきましょう。」と挨拶した後、市町村合併の経過と今後、行政改革の概要などについて、各担当者が説明を行いました。

住民からは、「もっと歳出削減に努力すべきだ。」「住民サービスを低下させない行政改革を。」などの意見が出され、策定中の行政改革プランに反映していくことを確認しました。



町の説明に耳を傾ける参加者



審査会場に並ぶ牛たち

町秋季畜産共進会

小山田中部支部が団体優勝！

肉用牛の改良増殖と畜産振興を目的とした町秋季畜産共進会が八月二十六日、町畜産共進会場で開催され、町和牛振興会の七支部から二十九頭の肉用牛が出品されました。

厳正な審査の結果、団体の部は小山田中部支部が優勝、特別賞のグラントチャンピオン賞は木田支部の垂水純夫さんが受賞しました。

【成績】

▽団体の部

優勝 小山田中部

二位 小山田西浦

三位 市来原

▽女性部審査競技会の部

優勝 小山田中部

(武田成子、末吉キミ子、日高笑子)

二位 市来原 三位 西別府東部

▽個人の部

〔肉用牛一部〕

一席 隈原秋男 二席 榎田静雄

三席 日高春雄

〔肉用牛二部〕

一席 垂水純夫 二席 垂水純夫

三席 武田薫

〔肉用牛三部〕

一席 内村靖夫 二席 向江重夫

三席 榎田静雄

▽グラントチャンピオン賞

垂水純夫

始良秋季畜産共進会

加治木町は団体四位

始良秋季畜産共進会が九月十三日、始良中央家畜市場で開催されました。

本町からの出品は十一頭で、審査の結果、団体の部、女性部審査競技会ともに四位に入賞。成雌牛区の末吉満也さんと末吉泰さんが県共進会への出品が決まりました。また、永年、畜産振興に貢献された末吉泰さんが畜産功労者特別表彰を受賞しました。

【個人成績】

▽若雌二部 武田 薫 (最優秀賞)

▽若雌三部 内村靖夫 (最優秀賞)

向江重夫 (優秀賞)

▽若雌四部 垂水純夫 (優秀賞)

▽若雌五部 山口正春 (優秀賞)

▽若雌六部 末吉満也 (最優秀賞一席)

末吉 泰 (最優秀賞三席)

共に支えあつた半世紀

四十七組の金婚式を祝う

加治木町敬老金等贈呈式と合同金婚式が九月十六日、福祉センターで行われ、町職員や町議会議員など、出席者全員で長寿と金婚式を祝いました。式典では、川野町長が「夫婦の契りを結ばれて五十年。これまで多くの喜び、苦しみ、悲しみをお二人で励まし合いながら乗り越えてこられたと思います。ますます仲むつまじく、元気にお過ごしください。」と挨拶。

合同金婚式には、今年結婚五十周年を迎える五十四組のうち四十七組の夫婦が出席。一組ずつ三三九度の杯を交わし、共に支えあつてきた五十年の歴史を振り返っていました。中浜の岩田馨さんは、「あつという間に過ぎた五十年でした。終戦間もない苦しい時代をなんとか生きてきました。今日は金メダルを貰ったような喜びです。」。妻のシャチ子さんは、「孫やひ孫に囲まれて、毎日楽しく元気に暮らしていますよ。」と金婚式を迎えた喜びを話してくださいました。また、寝たきり老人等の介護者三十一人にも介護報奨金が贈られました。



お互いに感謝してこれからもよろしく



お祝いの踊りを披露する子どもたち

第二十七回加治木町社会福祉大会・スポーツ大会が九月十七日、「思いやりとやさしさで心豊かな二十一世紀を みんなでつくろう 誰もが住みよい加治木の町を」をスローガンに掲げ町営体育館で開催されました。福祉大会では、永年にわたって社会福祉の増進向上に寄与された内村茂さん、中丸久さん、藤崎一徳さんの三人に、川野威朗社会福祉協議会会長から表彰状が贈られました。



委嘱状を受け取る養毛さん（右）

引き続いて行われたスポーツ大会では、ゲートボールやパン食い競走、くす玉割りなどを楽しみました。最後に参加者全員が輪になっておはら節と加治木音頭を踊り、さわやかな秋の一日を過ごしました。

社会福祉大会・スポーツ大会

三百人が集い盛大に開催



ゲームでさわやかな汗を流しました

観光まごころ県民運動推進員

養毛五男さんに委嘱状

鹿兒島県を訪れる観光客を温かく迎え、良質のサービスを提供することで再び訪れたいと思うような観光がこしまづくりを進める「観光まごころ県民運動」の運動推進員に、町観光協会会長の養毛五男さんが委嘱されました。同運動推進会議の伊藤祐一郎会長からの委嘱状が九月二十八日、川野町長から養毛さんに手渡されました。

観光まごころ県民運動は、県民のホスピタリティ（暖かくもてなす心）醸成、観光事業者等の資質向上、きれいな観光地づくり等を目標に掲げ、平成十四年十月からその活動に取り組んでいます。養毛さんは、「県民一人ひとりが観光客に対し、心のこもったおもてなしをすることが大切です。」と話していました。

これからますますお元気で 各地で行われた敬老会



下浜自治会



明神自治会



竹下自治会



下新道自治会



須崎自治会



垂之口自治会



弥勒自治会



竜門西元地区

第44回来議院議員総選挙結果

町内投票率は67.74パーセント
前回より5.18ポイントアップ

衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査が九月十一日、町内十五箇所の投票所で行われ、即日開票されました。

加治木町内の投票率は、小選挙区が67・74パーセントで平成十五年十一月九日に行われた前回選挙の62・56パーセントを5・18ポイント上回りました。
(当日の有権者数は、一万八千三十人)

●投票所別投票率（小選挙区）

区	投票所	有権者数	投票数	投票率%
1	加治木中学校	2,445	1,319	53.95
2	保健センター	1,696	1,022	60.26
3	福祉センター	2,043	1,290	63.14
4	性応寺	1,858	1,010	54.36
5	錦江小学校	1,423	758	53.27
6	岩原公民館	1,501	867	57.76
7	豊町公民館	1,488	782	52.55
8	加治木小学校	3,187	1,888	59.24
9	永原小学校	569	353	62.04
10	雛場公民館	127	75	59.06
11	辺川大字公民館	188	136	72.34
12	西浦公民館	240	132	55.00
13	川内公民館	202	123	60.89
14	竜門小学校	835	514	61.56
15	中野公民館	228	131	57.46
	期日前投票		1,813	
合計		18,030	12,213	67.74

●小選挙区候補者別得票数

	氏名	得票数
1	米重ひとし	414
2	はまだ健一	6,092
3	小里やすひろ	5,492
	得票総数	11,998
	無効票	215
	投票者総数	12,213

●比例代表政党別得票数

	政党名	得票数
1	国民新党	496
2	民主党	4,243
3	自由民主党	4,428
4	社会民主党	760
5	日本共産党	447
6	公明党	1,530
	得票総数	11,904
	無効票	303
	投票者総数	12,207

かじき情報局

INFORMATION

お知らせ

募集

イベント

講座

お知らせ

**平成18年加治木町成人式
町外在住者を
調査しています**

町教育委員会では、平成18年成人式の新成人者名簿を作成しています。御家族の中に、町外在住者で町の成人式に出席を希望される方がいらっしゃいましたら、11月11日（金）までに御連絡ください。

●調査対象者

昭和60年4月2日～昭和61年4月1日生まれの方で、現在住民票が町外にある方。

●平成18年の町成人式は、1月8日（日）午前10時から加音ホールで行われます。

▽連絡・問い合わせ先

教育委員会社会教育課
TEL（62）2111内線321

**赤い羽根共同募金運動
「地域の福祉、
みんなで参加」**

今年も10月1日（土）から12月31日（土）まで、赤い羽根共

同募金運動が全国一斉に展開されます。

皆さんから寄せられた共同募金は、皆さんの住む地域の在宅福祉など、それぞれの地域の幸せづくりのために使われます。温かい善意をお願いします。

▽問い合わせ先

鹿児島県共同募金会
TEL 099（257）3750

**10月は臓器移植普及
推進月間 ～命への
優しさと思いやり～**

10月は「臓器移植普及推進月間」です。臓器移植は、臓器の機能障害に対する根治療法として、各種の臓器不全に苦しむ患者にとって大きな希望となっています。

日本での臓器の提供を待っている人はおよそ1万3千人。日本では臓器の提供が少なく、数多くの人が移植を希望しながら亡くなっています。

臓器提供では本人と家族の意思が尊重されます。「臓器提供意思表示カード」又は「臓器提供意思表示シール（免許証に貼

付）」をお持ちください。あなたの意思で助かるいのちがあります。臓器提供の意思表示に御協力ください。

▽問い合わせ先

県庁健康増進課
TEL 099（286）2714

**パスポート新規取得者
モニター助成制度**

モニターになっていただいた方は、ツアー料金が1万円割引になります。

○対象者 平成17年4月1日以降にパスポートを新たに取得された方（更新を含む）

○対象となるツアー

鹿児島・ソウル線又は鹿児島・上海線を往復利用するパツクツアー（平成17年11月1日（火）～平成18年3月31日（金）に出発）

○定員 700人

○申込方法 モニター助成制度の対象となるツアーを販売する旅行代理店で、旅行申込みと併せて申し込む。

▽問い合わせ先

鹿児島空港国際定期路線利用

促進連絡会事務局
TEL 099（286）2453

募集

**紅葉真っ盛り！
霧島探訪霧島山楽隊
参加者募集**

深まりゆく秋。あなたの心をゆさぶる自然。紅葉の霧島を楽しんでみませんか。

○期日 11月12日（土）～
11月13日（日）

○対象 成人

○募集 60人

○申込方法 所定の申込用紙（必要な方には郵送します）に記入の上、直接届けるかメール、FAX又は郵送で申し込む。

○締切り 11月1日（火）必着

▽申込み・問い合わせ先

霧島自然ふれあいセンター
TEL 0995（78）2815
FAX 0995（78）2858
e-mail: fureai@pref.kagoshima.lg.jp

イベント

**錦江湾
帆船フェスタ**

鹿児島が世界に誇る錦江湾に日本と韓国を代表する帆船がやってきます。

船内の一般公開、白い帆を張るセイルドリルなど、普段は見ることのできないものばかりです。ぜひ、御来場ください。

○11月10日（木）

場所 垂水港（新港）

帆船コレアナ

○11月11日（金）～13日（日）

場所 鹿児島港本港区北ふ頭

帆船日本丸、コレアナ

※一般公開やセイルドリルは、実施日時が決まっています。

▽問い合わせ先

錦江湾みらい総合戦略推進協議会事務局
TEL 099（286）2424
http://www.pref.kagoshima.jp/home/chikika/

1枚の調査票への こだわり



調査票は、回収されましたか。
目指しているのは、確かな統計データです。まだの方は、
市区町村の国勢調査担当係までご連絡を。

2005

国勢調査

平成17年10月1日(土)

総務省統計局

指定管理者を募集します

●加治木町公の施設（6施設）の指定管理者を公募（募集）します。

1. 募集要項の配布期間

平成17年10月11日（火）～10月27日（木）

2. 施設によっては現地説明会を実施します。

日時、場所等については募集要項に記載

3. 応募書類の受付期間

平成17年10月20日（木）～10月27日（木）

4. 対象施設及び募集要項の配布場所、応募書類の提出先

①加治木町龍門陶芸・健康の里（陶夢ランド）

⇒社会教育課社会教育係 TEL62-2111（内線321）

⇒陶夢ランド TEL62-1000

②加治木町特産品売場（ふれあい物産館）

⇒企画課商工観光係 TEL62-2111（内線362）

③加治木町営龍門滝温泉

⇒総務課管財係 TEL62-2111（内線262）

④加治木町さえずりの森

⇒農林耕地課林務水産係 TEL62-2111（内線164）

⑤加治木町福祉センター

⇒健康福祉課福祉サービス係 TEL62-2111（内線505）

⑥加治木町ふれあいセンター

⇒健康福祉課福祉サービス係 TEL62-2111（内線505）

※詳細は、各施設にお問い合わせください。

※募集要項は、町のホームページにも掲載しています。

アドレス <http://www.synapse.ne.jp/kajiki/>

2005 第4回 2005-2006はドイツ年の年です
ドイツの写真を中心に...

パソコンで観る写真展

パソコンで楽しむ写真の世界
ザイフェンからの贈りもの！
ザイフェンで作られた本物の木彫りの人形たちを
展示販売いたします。

よみがえるドレスデン

11月3日(木) 9:00 ~ 16:00
加音ホール(加治木町)

フラウエン教会(ドレスデン)

Office GOTO
Computer School & PC Doctor
代表 後藤聖寿
Tel 0995-62-7845
<http://www.minc.ne.jp/~ofgoto> e-mail ofgoto@po.minc.ne.jp

ボルシェとBMWもやってくる!!
協賛 M.D. Evolution
トロピカーナツーリングクラブ
<http://www.faco.ne.jp/md-eva>
後援 加治木町教育委員会

2005 年 第 4 回

ドイツの写真を中心に

パソコンで観る写真展

よみがえるドレスデン

1945年2月、大空襲により壊滅状態となったドレスデンは2006年に建都800年を迎えます。
今も町全体が復興の途中で、中でも「世界最大のパズル」とも言わしめたフラウエン教会の
復興途中の写真を中心に、文化と芸術の都ドレスデンの写真をお楽しみください。

主催 Office Goto

協賛 M.D. Evolution
トロピカーナツーリングクラブ

後援 加治木町教育委員会

日時 2005年11月3日(木) 9:00~16:00

場所 加治木町加音ホール

内容 ・ドレスデンの写真展
・ザイフェンの写真展と木彫り人形展示
・ボルシェとBMWの展示
*御希望の方には写真と人形の販売もいたします

問い合わせ先 TEL 62-7845（後藤）

9月1日から 土砂災害警戒情報制度がスタート

土砂災害警戒情報とは、土砂災害発生の危険度が高まった時、鹿児島県と気象台が共同して市町村単位で発表するもので、市町村が行う防災活動や避難勧告等の判断を支援し、住民の生命と財産を守る情報です。



土砂災害警戒情報の発表

市町村が行う防災活動や避難勧告等の判断を支援

これが新しく発表される情報だケロ。



土砂災害警戒情報の発表タイミングの例 〈防災機関、住民の行動例〉



地形・地質などの条件が悪いところでは、土砂災害警戒情報が発表されていなくても土砂災害が発生するおそれがあります。気象情報等に注意してください。

シリーズ No.43

ジェンダー(社会的文化的に作られた性差)からの解放は男女共通のテーマです。



男女共同参画

これからは地域で子どもを見守る時代！

9月15日、「加治木町要保護児童対策地域協議会」が設置されました。

17年4月に児童福祉法が変わりました。

市町村でも要保護児童(※)に対する支援の状況を的確に把握し、通告があったら児童相談所や、福祉事務所等の関係機関に連絡することになったのです。

加治木町ではそのための協議会を9月15日に設置し、深浦助役から19人に委嘱状が渡され、子どもたちの適切な保護を図ることに関して、情報交換や、支援、早期発見、初期対応の検討、啓発に関することなどを協議し、今後しっかり連携していくことを確認しました。会長には深浦助役、副会長には岡元民生委員・児童委員協議会長が選ばれました。

また、相談や通告があった個別のケースについても、必要に応じて具体的な援助をすることになっています。その調整機関は総務課男女共同参画係です。

児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は速やかに知らせること(通告)になっています。(児童虐待の防止に関する法律第6条)

(※要保護児童とは、虐待に限らず、保護者のいない児童又は保護者に監護させることが不相当であると認められる児童とされています。)



あなたの勇気を！

子どもの虐待を引き起こす要因の中には、ジェンダーの問題がいっぱいです。

解放され、自分を大切にし、自己決定していくこと、一人でかえこまず、周りの人に助けてもらう、話を聞いてもらう勇気を！



● 子ども虐待の通告や相談

相談専用電話 62-2230 役場62-2111も可

通告や相談に加治木町も対応しています。虐待かそうでないかは調査で判断します。仮に調査の結果、「虐待」の事実がなくても通告者が責任を問われることはありません。「虐待」が疑われる場合には通告を！！

● 無料女性相談

毎週火曜日9:00～12:00

相談専用電話 62-2230 (役場62-2111も可。) 原則 電話相談(面接相談も可。) 秘密は守ります。

平成17年10月から 介護保険施設での 「居住費」と「食費」が利用者負担となりました

新たに利用者負担になるもの

介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、短期入所介護では



通所介護（デイサービス）、通所リハビリテーション（デイケア）では



居住費とは…

個室の場合：施設の利用料（減価償却費）＋電気、ガス、水道などの光熱水費に相当する費用
多床室の場合：電気、ガス、水道などの光熱水費に相当する費用のみ

食費とは…

食材料費＋調理にかかる費用
※栄養管理にかかる費用は、ひきつづき保険給付の対象となります。

施設を利用している人は居住費と食費を介護保険から給付されますが、在宅の人は自己負担となっています。そこで、公平性を図るために、現行で保険給付の対象となっている施設サービス利用時の「居住費（光熱水費相当：個室の場合は減価償却費を含む）」と「食費（食材料費と調理コスト相当）」が保険給付の対象外となり、利用者の自己負担となります。ただし、所得の低い人には負担の軽減があります。

所得の低い人は負担が軽減されます

居住費や食費として必要になる平均的な額として、介護保険では居住費（滞在費）と食費の基準費用額を設定しています。利用者負担段階が第1段階から第3段階の人には、負担の限度額が決められ、利用者負担は限度額までとなります。限度額を超えた分は介護保険から施設及び事業者に支給されます。（特定入所者介護（支援）サービス費の支給）

対象となるサービス

要介護の人：介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護療養型医療施設
短期入所生活介護・短期入所療養介護の居住費（滞在費）及び食費
→特定入所者介護サービス費の対象となります。

要支援の人：短期入所生活介護・短期入所療養介護の滞在費及び食費
→特定入所者支援サービス費の対象となります。

※通所介護（デイサービス）及び通所リハビリテーション（デイケア）の食費は対象となりません。

介護保険系の窓口で申請

施設サービス（ショートステイを含む）を利用して、利用者負担段階が第1段階から第3段階の人は、介護保険系の窓口で「特定入所者介護（支援）サービス費」の申請をしてください。

予防接種法施行令の一部改正により平成18年4月1日から 麻しん・風しんの予防接種が変わります!

◆新しい予防接種について（平成18年4月1日から実施）

予防接種名	ワクチン 種 類	回数	対 象 年 齢	備 考
麻しん ・ 風しん	混 合 生ワクチン	2回	[第1期] 生後12月～生後24月 [第2期] 小学校就学前日までの1年間	※2回とも混合ワクチンの接種とする。 麻しん・風しんのどちらか一方を単独で受けた人は対象外。

※現行の麻しん・風しん単独ワクチンによる接種は、公費による予防接種から外れます。

◆経過措置

対 象 者	H16.4.1生まれまで	H16.4.2生まれ ～ H17.3.31生まれ	H17.4.1生まれ以降
H18.4.1時の 年 齢	2歳以上	1歳～2歳未満	1歳以下
受 け 方	平成18年3月31日までに、麻しん・風しんの予防接種をそれぞれ受けておく。	次の3つの方法があります。 ①平成18年3月31日までに、麻しん・風しんのどちらとも受けておく。 ②平成18年3月31日までに、麻しん・風しんのどちらか1つ受けておくと、平成18年4月1日以降、2歳になるまでの間にもう1つの予防接種を単独で受けられる。 どちらか一方の病気にかかった場合も同様。 ③単独の予防接種はどちらも受けずに、平成18年4月1日以降、混合ワクチンによる第1期・第2期を受ける。	平成18年4月1日以降、1歳になり次第、新しい予防接種法に基づき、麻しん・風しん混合ワクチンによる第1期・第2期を受ける。
注 意 事 項	※平成18年4月1日以降、麻しん・風しんの予防接種を公費で受けられなくなります。	※ただし、2歳を過ぎると対象外！ 4月生まれなど、まもなく2歳になる人は要注意！！	1歳になったら、 早めに受けるように しましょう！ 

※町内医療機関での個別接種は1・2月は休みであること、麻しんと風しんの予防接種を続けて受ける場合に、4週間（27日）以上あける必要があることを考慮し接種スケジュールを立ててください。

※この予防接種は、義務ではありません。

教育委員会だより



文部科学省「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」
 ～～加治木町の実施計画～～

子ども安心プロジェクト

学校管理下における事件・事故が大きな問題となっている近年の状況を踏まえ、子どもたちが安心して教育を受けられるよう取り組むことが求められています。そこで、家庭や地域の関係機関・団体及び地域ボランティア等と連携しながら地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備し、安全で安心な学校が確立されるよう文部科学省の補助事業に、このほど加治木町が指定されました。

加治木町では、三十年前から「声かけおじさん」というすばらしい実践活動が続いており、それをベースにした取組を考えています。まず、警察OBのスクールガード・リーダー2名の指導のもと、地域ボランティアの「スクールガード」の方々に校区を巡回していただこうと考えています。

また、校区ごとに「安全マップ」を作成していますが、これを家庭等に配布して、注意を呼びかけ、「子ども110番の家」とも連携してより安全な生活状況を作ります。いま、計画している小学校の集団登下校も実現させ、必要な予算付けも行って、子どもたちが安心して通学できるようにしていこうとしています。

加治木の子を同じ心で育てる

町幼・保・小連絡会の取組

加治木町教育委員会では、町内の全ての幼稚園・保育園（所）・小学校が集まって、幼児期からの教育について協議を重ねてきました。本年度は、次の4点について共通の指導を行い、きちんとした「しつけ」を身に付けさせようと取り組んでいます。

ア 話を静かに聞くことができる

イ あいさつができる

ウ 正しいことばづかいができる

エ 自分のことは自分でできる

それぞれの学校や園・所では、独自の取組を実践されているようです。ある保育所では、実行推進委員会を設置して全職員で取り組み、「2歳児が『おはようございます』と言って駆け寄ってくるようになった。」と報告されています。11月16日（水）には、それを総括する連携研修会を錦江小学校で開催します。1年生の授業を通しての研修会ですので、保護者の皆様にもぜひ参加いただければと思っています。



～県図画作品展でがんばる～

左の絵は、県図画作品展で県知事賞を受賞した加治木小学校2年生藤野綾音さんの「くも合戦」の作品です。郷土の伝統行事を題材にして、蜘蛛の様子を感じたままに大胆に子どもらしく表現しています。加治木小学校は、今年は県の優秀学校賞も受けています。そのほかに、市長会会長賞（加小2年犬童才貴さん）、特選2名、入選4名が町内から入賞し、それぞれの作品が黎明館に展示されました。

平成17年度「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」 11月1日(火)～11月7日(月)

学校へ行こう週間

みんながみてる ふしぎだな もりもりちがらがわいてくる

加治木町の幼稚園・小学校・中学校の一斉学校参観日

11月1日(火)・2日(水)・4日(金)・7日(月)

県民週間の前後3週間は、町内のどこの学校・幼稚園でも何回でも参観ができます。この期間中、各学校や園では、次のような行事を計画し、広く町民のみなさんのお越しをお待ちしています。

加治木幼稚園 TEL62-2502	11/ 2(水)	やきいもパーティー	錦江幼稚園 TEL63-2038	10/31(月) 11/ 2(水) 11/ 9(水)	お誕生会 さつまいもの収穫・やきいも 卒園の花づくり
柁城小学校 TEL63-2552	11/ 1(火) 11/ 1(火) 11/ 2(水) 11/ 4(金) 11/1～7	子育てセミナー 手話ミュージカル わくわく新エネルギー教室 教育講演会 ふれあい柁城サロン	錦江小学校 TEL62-2359	10/23(日) 11/ 2(水) 11/ 4(金) 11/ 8(火)	PTAバザー 給食試食会(長寿会) 給食試食会(生活学校生) 子育て講演会
竜門小学校 TEL63-3446	11/ 2(水) 11/ 4(金) 11/ 4(金) 11/ 7(月)	さつまいもの収穫 授業参観・学級PTA 映画鑑賞会 祖父母参観・グランドゴルフ大会	永原小学校 TEL62-2816	11/ 1(火) 11/ 1(火) 11/ 2(水) 11/ 4(金) 11/ 7(月)	高齢者とのふれあい活動 ふれあい給食 英語活動公開授業 親子読書会 手話ミュージカル鑑賞会
加治木小学校 TEL62-3156	11/ 1(火) 11/ 2(水) 11/ 7(月) 11/ 9(水)	わくわく新エネルギー教室 子育て講演会 ふれあい給食 PTA講演会	加治木中学校 TEL63-1111	10/25(火) 11/ 2(水) 11/11(金)	公立高校説明会 3年学級PTA 総合文化祭・バザー

問い合わせ先 教育委員会 学校教育課 TEL 62-2111 (内線341)

第39回

町文化祭

11/5(土)～6(日)
加音ホール

11月5日
(土)

作品展示 文化協会展/かじの木大学同好会展/一般応募展
10:00～ オープニングセレモニー(加音アンサンブル演奏)
13:00～ 舞台発表(大ホール)

11月6日
(日)

作品展示 文化協会展/かじの木大学同好会展/一般応募展
10:00～ 舞台発表(17:00終了)
10:00～ お茶会(15:00終了)



寄稿

台風14号による
垂水被災地救援活動に参加して

日赤アマチュア無線奉仕団 山内 栄一

九月十一日午後五時過ぎ、日赤鹿児島支部から通信連絡手段の確保のため、垂水被災地の救援活動に参加してくれと要請があった。

翌十二日、午前八時には牛根麓にある松ヶ崎公民館に到着。途中、道路の両脇には大小の樹木と土砂が排除され、土石流の凄まじさを物語っていた。

要請を受けて集まった三人でアンテナの設定や無線機の設置作業を実施。垂水市民会館内にある災害対策本部と通信連絡のテストをする。被災地と松ヶ崎公民館は見通しの良い距離であり、ハンディー機でも十分通話可能と判断する。その間、ボランティア受付も始まり、担当者が被災地家屋の割り当てと輸送



写真右端が山内さん

をてきばきと指示していた。我々無線班は、ボランティアが被災家屋に何名配置され、どのような作業を実施しているかを市の対策本部に報告、作業の終了したボランティアを効率よく作業の遅れている場所への移動、その他必要器材の配分撤収等、適切な通信連絡によって、円滑な復旧作業が出来るよう支援するのが仕事である。

救援活動中は降雨もなく、乾燥した土砂が砂塵をまき上げたのには閉口したが、作業は順調に進み、災害ボランティア現地本部は十九日に解散。十一日からの八日間で、延べ九百人以上のボランティアが参加した。

炎天下に中・高生、青年、中年の善意の人々が汗と土埃の中、黙々と作業をしている姿を見ると、自然と頭の下がる思いがした。

寄稿

パワー全開！原ノ門

原ノ門子ども会 育成部 徳永 美雪

原ノ門自治会は錦江駅前に位置し、子ども会の会員数も六十五名と多く、毎回親子でワイワイ、ガヤガヤ言いながら、パワフルに楽しく活動しています。四月の一年生を迎える会が始まって、五月の木田三地区運動会、美化活動と続き、夏休みに入るとすぐに加治木団地夏祭りが行われます。木田三地区の赤坂・小鳥・中央・原ノ門の四自治会が一緒になつての行事で、六月頃から祭りについての話し合い、おみこし作り、演芸大会の練習などが始まります。

スポーツ少年団に入っている子ども達が多いため、計画どおりに練習ができず、特別に練習日を設けたりしました。何度も練習を重ねてバタバタと当日を迎えました。夕方四時からおみこしパレードがスタートし、夜の演芸大会と続きます。役員、子ども達のお父さん、お母さん共々楽しみもあり、ヒヤヒヤもありで、無事演芸大会が終わった時には涙が出る思いでした。大人数をまとめるのは本当に大変でしたが、子ども達や保護者、地域の方々の協力にはとても感謝しています。



謝しています。

また、夏休み中、中学部の子ども会が中心となり、小中合同で「カレーパーティー」を開催しました。集会所に、日ごろお世話になっている「ひまわり会」の方々を招き、子ども達にカレーを作ってもらいました。初めての試みでしたが、和気あいあいとした中、意外と上手な包丁さばきに驚きました。

これからもさまざまな活動を通して色々な面で成長していくことを願っています。

加治木町指定文化財 新しく2件を追加

●森山家の献上手黒釉玉流把手付花瓶

明治40年、皇太子（のちの大正天皇）に加治木の名産として献上するため製作された龍門司焼で、デザインを新納時亮氏が考案し、川原次郎太氏（芳次）らが製作しました。胎土に霧島白土を用い、黒釉と流し釉の光沢が美しく、把手には獣面と獣脚が表現されています。献上を機会として、龍門司焼が新しい秀逸な製品作りを試みた過程を示す資料で、その結果、数多ある龍門司焼花瓶の中で、美術品としての価値の高い工芸品です。



●大井上神社伝来の墨書材

長辺364cm、短辺14cm、厚5cmの貫材1点と、ホゾ穴を施した長さ148cm、12cm角の柄柱2点です。



内容は、豊臣秀吉の島津征討を記録したもので、支配関係が激変する「侍、民」の歎き・心配と、安堵した喜びが地元の人々の「声」として記録され関わった役人や大工、当時のこの地区の関係者の名称等も記されています。この墨書材は、小山田地区の先人達の尽力により、400年以上の歳月を隔てて伝わっている貴重な歴史史料です。



大井上神社伝来の墨書材展

町郷土館で特別公開中!! 10月23日(日)まで

問い合わせ先 町立加治木図書館・郷土館 TEL 62-2605

郷土館コーナー

庶民の風俗を享樂的に表現「錦絵」

浮世

世絵は江戸時代に流行した庶民の風俗を描いた絵画で、多色刷りの絵は錦絵のように美しいので錦絵と呼ばれました。郷土館には、錦絵黄金時代（天明安政期頃）の三人の同号豊国の絵が五十四枚あり、好色享樂的な内容が多いといわれます。

一陽齋豊国画の署名は十三枚あり、一陽齋と号した歌川豊国（初代）は、歌川派の創始者歌川豊春の門下で、寛政・文政期に一世を風靡。役者絵、美人画などの作品で活躍し、歌川派全盛時代の基礎を築きました。

明治に入ると、文明開化の新しい世界を描き、錦絵による新聞、錦絵で西南戦争を描いたり

と多様化しましたが、写真の登場により衰微していききました。版元の「泉市」は「和泉屋市兵衛」の略。

明治に入ると、文明開化の新しい世界を描き、錦絵による新聞、錦絵で西南戦争を描いたり



一陽齋豊国画



香蝶楼豊国画

竜門旬会

老犬の舌も伸び切る残暑かな

赤とんぼ孫が押してる車椅子

若さとは眩しきものよ初紅葉

飯の世の時間音たて沙羅の花

紫は秋となる色式部の実

牛住まぬ牛舎の闇にちちろ鳴く

熱風を太鼓踊りの鉦煽る

大野分地球に鳴らす赤信号

灯下親し天眼鏡を左手に

蛸や小さくなりしランドセル

雨乞ひの踊りともなり盆明くる

息を止め描く筆先涼新た

放射能集め露草青みたり

毬栗を引きちぎり去る大野分

さざなみを破りし魚月に遇ふ

身に入むや三師の教え耐える身に

三味の音や面を包みて踊りの輪

踊り子の鎌髭よみす荒御魂

註・ちちろ＝こおろぎ よみす＝ほめる 荒御魂＝荒く勇猛な神霊

酒匂 君江

川畑 克己

神村 洋子

脇本 星浪

岩田美知江

藤崎 文庫

中村 勉

郡山マサ子

白尾 澄子

藤原 壽子

竹山 洋子

宮脇 弘

園田 千秋

犬童 利春

田代 俊泉

松田 藤人

稲恒 寧夫

川崎 黒兎

今月の新刊情報

図書館だより

本を読もう

たくさん読もう



☎62-2605



日明恩／著
講談社

『埋み火』

老人世帯で連続する失火による火災。住人は不運な偶然が重なって不幸な結果に。赤羽台出張所の若手消防士・大山雄大は出火原因に疑問を持ち始めていた。人間の生きがいと尊厳を問う問題作。



ふくだとしお／作
新風舎

『ぼくをそだてて』

けむしくん、かたつむりくん、ありさんなどが、りんごや葉っぱ、ケーキの迷路を進み、むしやむしや、もぐもぐ食べていく。「うしろにいるのだあれ」の作者が贈る迷路の絵本。

その世の新着本

かたみ歌

朱川湊人

101歳の少年

三浦敬三

あの戦争は何だったのか

保阪正康

ザ・スタンド(上・下)

ステイヴン・キング

ほこらの風子

松崎美雨

おさるのやま

いとうひろし

さかさまさかさ

マリオ・ラモ

町立加治木図書館は電算化準備のため
11月1日(火)から来年2月28日(火)[予定]まで
一時休館いたします。



御寄附

香典返しに代わりにお御寄附をいただきました。厚く御礼申し上げますとともに故人の御冥福をお祈りいたします。

() は故人

◆社会福祉協議会へ◆

西反土後 有村 豊 (妻 カイ子 72)

辺川下 大園 タモツ (夫 三三 80)

毛上 上村 和巳 (母 スミエ 89)

西反土後 恒森 チエ子 (夫 一美 84)

萩原 湊辺 徹 (父 元治 95)

下東木 洪谷 春夫 (妻 イツ子 64)

川原 折口 八重子 (父 柚木義隆 90)

里ノ下 田代 ツヨ子 (夫 勉 71)

中央 大山 國人 (妻 孝子 64)

岩原西二区 豊留 俊枝 (夫 幸義 77)

毛上 犬童 政昭 (父 茂 81)

弥勒 池田 チエ子 (夫 輝忠 73)

柳田 本村 庄司 (母 ミエ 97)

西浦西 岩澤 千鶴子 (母 フチ子 82)

◆老人クラブ連合会へ◆

岩原西二区 豊留 俊枝 (夫 幸義 77)

▼9月15日までの御寄附を掲載いたしました。



うぶ吉

出生児 保護者 自治会

栗元 陽 等 蔵王団地

堀添 ちなつ 博之 上木田

前平 良太 秀康 郁文館住宅

馬場 樹哉 修二 楠園

永原 晃 和教 田中

指原 結愛 里美 内原田

瀧本 華梨 (和章 端山)

羽生 秀大 (壮吾 日本山団地)

津曲 姫那 (武志 反土黒川)

鳥丸 凜々 (勝利 赤坂)

前杉 和乃子 (竜志 郁文館住宅)

川村 綾子 (吉一 原ノ門)

鷹木 さおり 美枝 加治木龍門

■9月15日までに住民台帳に記載された方を掲載いたしました。

◆お詫びと訂正◆

広報かじき9月号の掲載内容に誤りがありました。訂正して深くお詫び申し上げます。

●6ページ水泳記録会成績
女子50m背泳ぎ
5年原田夏妃
(誤) ※53秒5
(正) ※39秒8

10月は 町県民税普通徴収(第3期)の納期です
固定資産税・都市計画税(第3期)の納期です

納期限(10月31日)までに納めましょう。

納税は手軽で便利な口座振替で! 手続は預金口座をお持ちの銀行や農協等で。申込みから振替開始まで約1か月を要します。

問い合わせ先 税務課 TEL 62-2111 (内線101~106)

10月・11月 医療機関在宅医表

都合により変更になる場合がありますので、必ず事前に御確認ください。

月 日	医療機関	所在	電 話	医療機関(小児科)	所在	電 話	医療機関(眼科)	所在	電 話
10月	16 (日) 川 畑 内 科	加治木	63-1499	梶 原 内 科	国 分	47-3363	神 村 眼 科	始 良	64-5556
	23 (日) 徳 永 医 院	溝 辺	58-2302	田中内科消化器科	国 分	46-6123	隼 人 福 島 眼 科	隼 人	64-2940
	30 (日) 松 下 亮 治 内 科	加治木	62-0084	国 分 生 協 病 院	国 分	45-4806	西 眼 科 医 院	加治木	62-2526
11月	3 (祝) 徳 重 クリニッ ク	加治木	62-2672	む ろ 内 科	国 分	46-6611	椎 原 眼 科 医 院	隼 人	43-1050
	6 (日) おばた泌尿器科・ひふ科	加治木	62-7100	野 元 内 科 医 院	始 良	65-2015	青 雲 病 院 眼 科	始 良	66-3080
	13 (日) 浜 崎 クリニッ ク	加治木	62-8588	た ち く ら 小 児 科	国 分	47-1211	田 中 眼 科 医 院	始 良	65-3986
	20 (日) 川 島 クリニッ ク	加治木	62-7200	西 元 医 院	始 良	65-2005	渡 辺 眼 科 クリニッ ク	国 分	45-6888
	23 (祝) 松 下 亮 治 内 科	加治木	62-0084	池 畑 内 科 医 院	始 良	66-0231	い ち ち 眼 科	国 分	47-3618
	27 (日) 徳 重 クリニッ ク	加治木	62-2672	国 分 生 協 病 院	国 分	45-4806	神 村 眼 科	始 良	64-5556
診療時間		午前9時～午後5時		午前9時～午後5時		午前9時～午後1時			

「お知らせ」が電話で聞けます。 ☎62-2541

ホームページアドレス <http://www.synapse.ne.jp/kajiki/>



カメラでパチリ

こんなもの
あんなもの



運転中の携帯電話禁止をドライバーに呼びかける
(財)日本公衆電話あいら分会のメンバー



秋の全国交通安全キャンペーンで交通安全母の会が
ドライバーに安全運転を呼びかけた



町社会福祉大会で表彰された内村茂さん(左から三人目)
中丸久さん(右から三人目)、藤崎一徳さん(右から二人目)



衆議院議員総選挙の投票を呼びかける
明るい選挙推進協議会のメンバー



始良伊佐郡民生委員・児童委員親善グラウンドゴルフ大会で見事優勝を飾りました

